令和6年度 高校生防災アクション 実施報告書

学校名	可児工業高等学校				
テーマ	自助を身に付け、共助へと発展させる。				
目標	自分で考え的確に判断をして、行動することができた後、他者にもかかわる。				
主な取組	<p>1) 能登地震災害支援活動報告会 11月7日体育館において実施した。社協から2名の講師を招き、体験した生徒2名と体験した教諭の司会者の5名で30分間開催することが出来た。4月から計画を練り始め11月の可児工祭で行った。中日新聞から取材され記事として掲載していただいた。可児市役所防災課からも参観に来ていただいた。</p> <p>2) 能登地震災害支援として、4月から6月までの間、穴水町に6回延べ19名の生徒と職員3名で活動を実施した。都度壁新聞を作成し通路に掲示した。</p> <p>3) 可茂地区PTA指導者交流会 9月26日会議室において、8校のPTA会長と担当職員の場で、能登地震災害支援活動と南海トラフ地震について20分講師を務めた。</p>				
目標に対する成果	減災力テスト	1年生			
		平均点	1回目	52.9点	2回目
目標に対する今後の課題	<p>1) 第一回目を春休み中に行うことは、今後も有益なので継続したい。</p>				
次年度の取組 (本年度の学びをどのように引き継ぐか、または深めるか)	<p>可児市役所総務部防災課との連携を模索する。以前防災士の資格取得について、本校の生徒に対して金銭的な補助を受けながら受講しやすくするにはどうしたら良いか、来校していただき話しをした経緯がある。生徒への意識の向上と資格取得の有意義さからも今後さらに詰めて行きたいと思っている。</p>				